

TOTO

取り替え用 シングルレバー混合栓

TKG30U1型
TKJ30U1型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1

安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

	してはいけない「禁止」内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 注意	
	<p>湯水を逆に配管しないでください。 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。</p>
	<p>強い力や衝撃を与えないでください。 故障や水漏れの原因になります。</p>
	<p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。 85℃より高温でご使用になると水栓の寿命が短くなり、破損して水漏れのため家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p>

⚠ 注意	
<p></p> <p>分解禁止</p>	<p>修理技術者以外の人は、水栓本体内部を分解・改造しないでください。 故障や水漏れの原因になります。</p>
<p></p> <p>必ず実行</p>	<p>フィルターの掃除をする際は、いきなりフィルターをゆるめずに、止水栓を閉めてから行ってください。 また、水栓本体の左側および湯側取り替え用脚が熱くないことを確認してください。 湯水が噴き出して、やけどや家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p></p> <p>禁止</p>	<p>寒冷地用 水抜きコックは水抜き以外の目的で開けないでください。 水抜きコックをいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p>

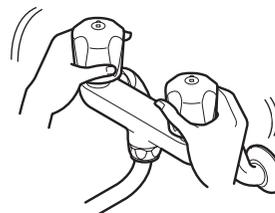
2 仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動圧)
	最高水圧	0.75MPa(静水圧)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1~40℃
	寒冷地用	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用途		一般住宅台所用

3-2

2.今お使いの水栓の取り付け状況の確認

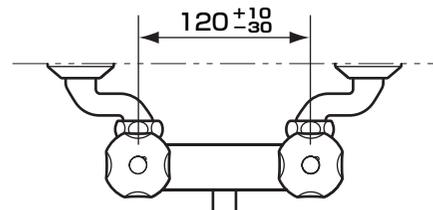
- 水栓を前後にゆすってガタツキがないか確認してください。



注意

ガタツキがあるまま工事しないでください。水漏れなどの危険があります。

- 取付脚の間隔を測り、 120 ± 10 であることを確認してください。



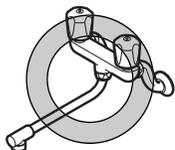
3-1 取り付け前に

1.今お使いの水栓の確認

- 壁付き2ハンドル水栓のほとんどに取り付け可能です。

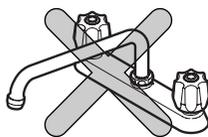
〈取り付け可能な水栓〉

①壁付き2ハンドル水栓



〈取り付けできない水栓〉

①台付き2ハンドル水栓



②取付脚が逆八の字の場合



③湯水が逆配管(向かって右が湯、左が水)の場合

- KVK・カクダイの一部商品には別途アダプタ(THY726)が必要です。この場合、前出寸法がさらに大きくなります。

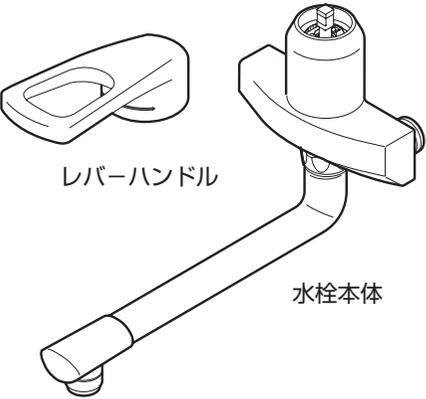
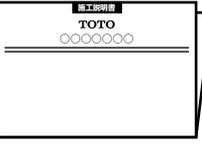
➡ **6-2** - **4** 「取り替え用脚の取り付け」参照

3.その他

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

4 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

水栓本体部	取り替え用脚部
 <p>レバーハンドル</p> <p>水栓本体</p>	<p>中パッキン (2個) 小パッキン (2個)</p>  <p>TOTO・KVK・INAX カクダイ・SAN-EI用 MYM用</p> <p>取り替え用脚 大パッキン付き(2個)</p>  <p>湯側 水側</p> <p>ねじがついている方が湯側です。</p>
その他	
 <p>施工説明書</p>	 <p>取扱説明書</p>
 <p>開閉工具</p>	

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

使用工具

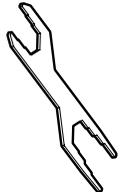


マイナスドライバー



モンキーレンチ (300mm)

または

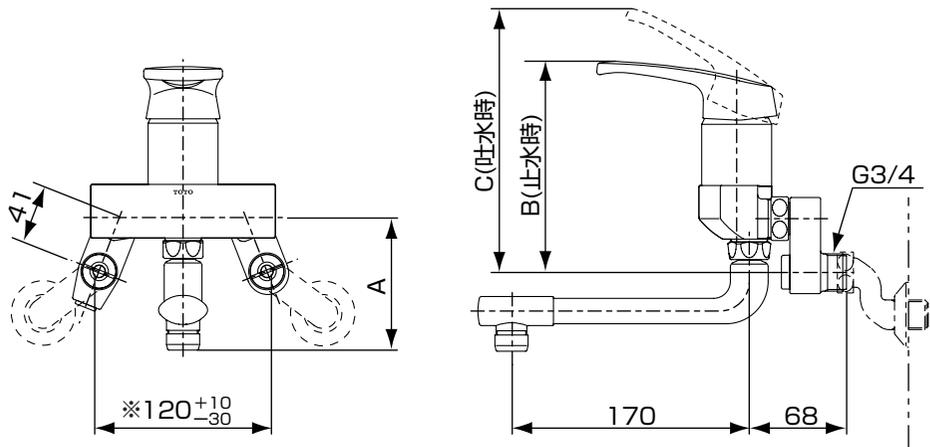


TZY44R (別売)

300mmのモンキーレンチをお持ちでない方は別売の専用工具(TZY44R)でも施工できます。

5 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

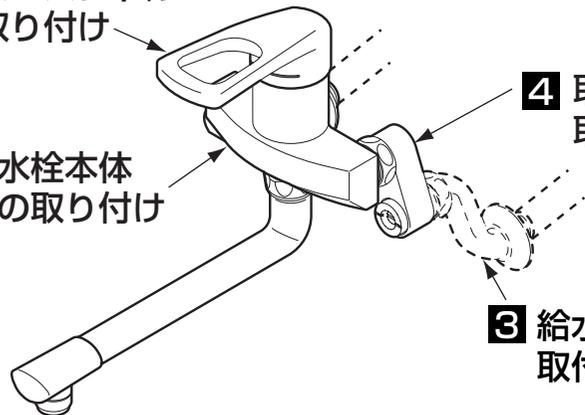


※は配管ピッチが（標準 最長 最短）の場合です。

	A	B	C
TKG30U1型	94	107.5	145.5
TKJ30U1型	82	104	142

6 レバーハンドルの取り付け

5 水栓本体の取り付け



1 元栓を閉める

2 本体の取り外し

4 取り替え用脚の取り付け

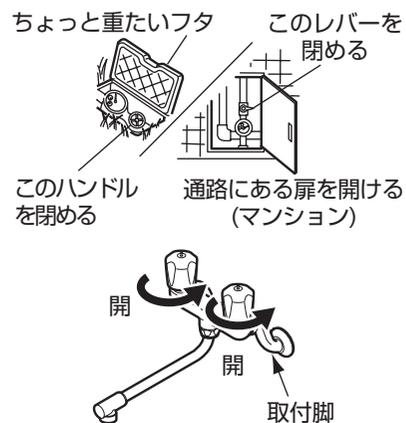
3 給水・給湯管内・取付脚内部の清掃

1 元栓を閉める

- ①配管部の元栓を閉める。
- ②ハンドルを開け、水が出ないことを確認する。

注意

取付脚部に腐食・ひび割れ・漏水などのないことを十分確認してください。また、配管や取付脚部の強度も十分確認してください。取り付け後、破損、水漏れのおそれがあります。

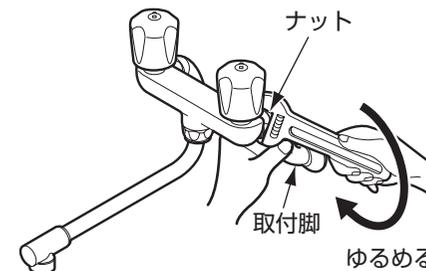


2 本体の取り外し

取付脚のナットをモンキーレンチでゆるめ、本体部のみを取り外す。

注意

取付脚がゆるまないよう十分に手で保持してください。



3 給水・給湯管内・取付脚内部の清掃

取り付ける前に **必ず給水・給湯管内・取付脚内部のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

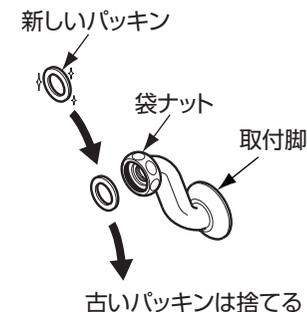
重要

4.1 取り替え用脚の取り付け

- ①本体と取付脚の間にある古いパッキンを取り除く。
- ②取付脚の袋ナットに、同梱の新しいパッキンを取り付ける。

注意

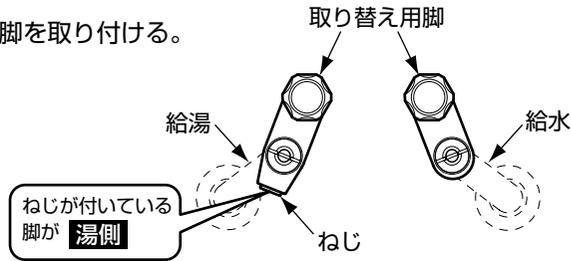
必ず同梱の新しいパッキンと交換してください。
水漏れのおそれがあります。



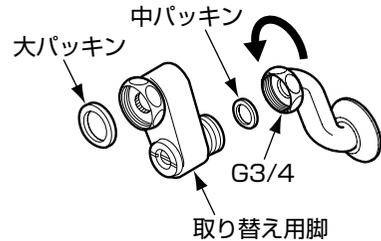
裏面へつづく

4-2 取り替え用脚の取り付け

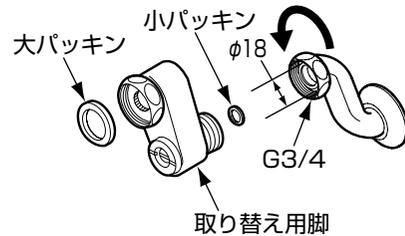
③取り替え用脚を取り付ける。



TOTO・KVK・INAX・カクダイ・SAN-EI

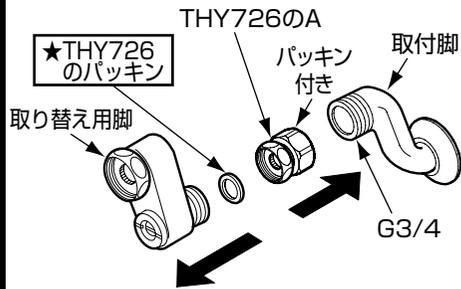


MYM



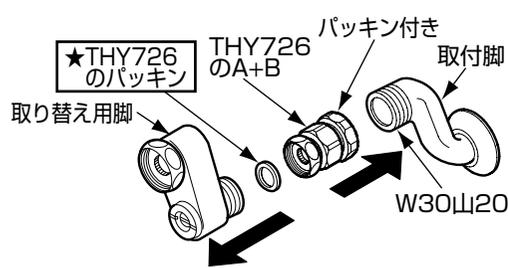
KVK・カクダイの一部

●THY726のAを取付脚に取り付けてください。

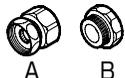


KVKの一部

●THY726のAとBを取付脚に取り付けてください。



THY726 (別売)



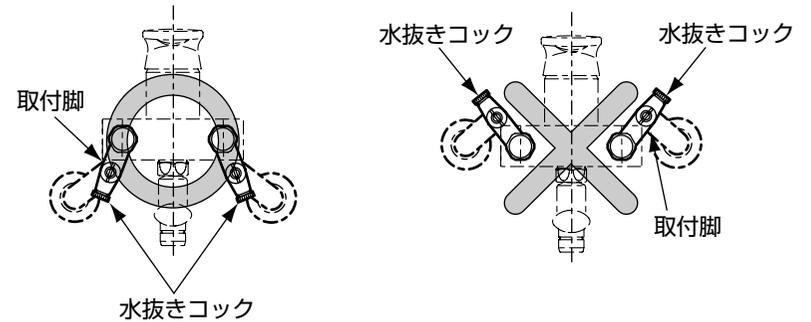
注意

アダプタを取り付けた場合は前出寸法がさらに大きくなりますので、配管や取付脚の強度を十分確認してください。取り付け後、破損・水漏れのおそれがあります。

4-3

寒冷地用の場合

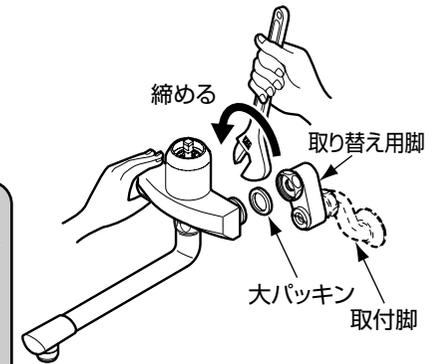
※寒冷地の場合は取り替え用脚の水抜きコックが本体よりも上になると、水抜きができませんので必ず下になるように取り付けてください。



5 水栓本体の取り付け

①水栓本体を取り替え用脚に取り付ける。

②水平になるように調整しながら、湯側・水側の袋ナットを交互に締め付ける。

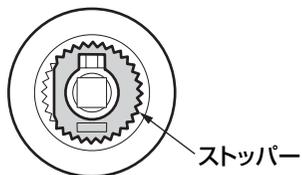


注意

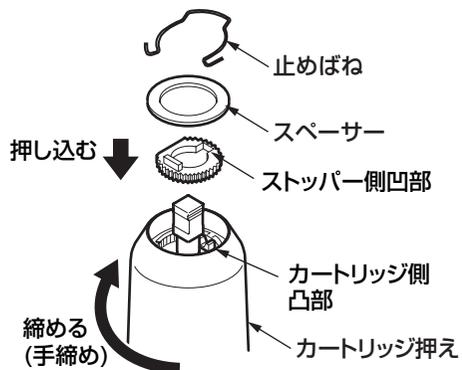
- ゆるみがないようにしっかり締めてください。袋ナットが確実に締め付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。
- 取付脚は回さないでください。配管との接続がゆるみ水漏れのおそれがあります。
- パッキンが入っていることを確認してください。パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。

6 レバーハンドルの取り付け

- ① ストッパーの浮きや外れがないか確認する。
 ※ 浮きや外れがある場合はカートリッジ側凸部とストッパー側凹部を合わせて押し込んでください。



〈浮きや外れがある場合〉

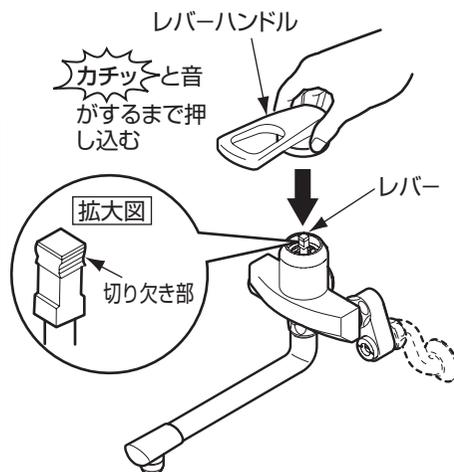


※ カートリッジ押えの歯とストッパーの歯が合わないときは、カートリッジ押えを **締め込む方向** にて歯を合わせるように調整してください。

- ② レバーハンドルとレバーの方向に注意し、押し込む。

注意

レバーハンドルとレバーの切り欠きとの方向に注意してください。レバーの切り欠きは **両サイド** にあります。



- ③ レバーハンドルが容易に抜けないことを確認する。

使用上の注意

ご使用中に以下のような現象が発生することがありますが、**故障ではありません。**お客様に十分にご説明ください。

現象	説明
急に湯・水を止めると、ハンドル操作が重たく感じる。	急に水を止めると、「ドン」といった不快な音が発生することがあります。この商品は、急なハンドル操作をしたときに抵抗をもたせることで、この不快な現象を低減させる機構がはたらいっているため、故障ではありません。
使いはじめに比べて、しばらく使用すると、ハンドル操作が重く感じる。	ご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、故障ではありません。

8

施工後の調節

1. 水出し確認

取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、スパウトから水が出るか確認してください。

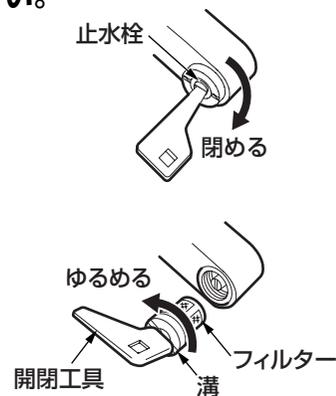


2. フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

フィルターが詰まると流量が少なくなったり、水または、熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にもときどき掃除していただくようにご説明願います。

※フィルターを掃除する際は、止水栓を閉め、開閉工具でフィルターを外してください。また、水栓本体の左側および湯側取り替え用脚が熱くないことを確認してください。(詳しくは、取扱説明書の「日ごろのお手入れ」を参照してください)

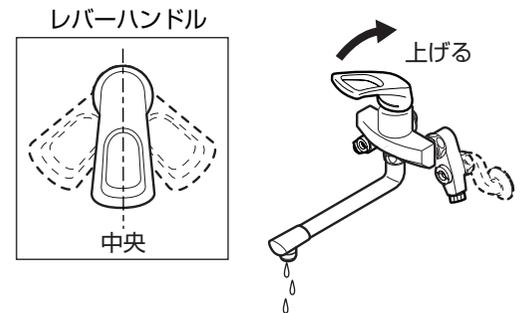


9

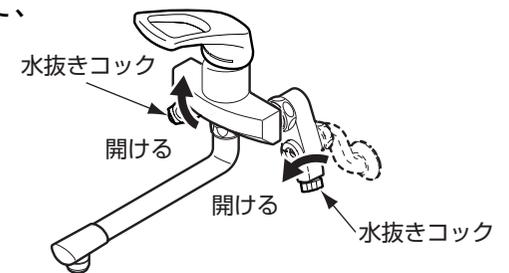
寒冷地用の水抜き方法

凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいください。また、お客様にも水抜き方法をご説明ください。

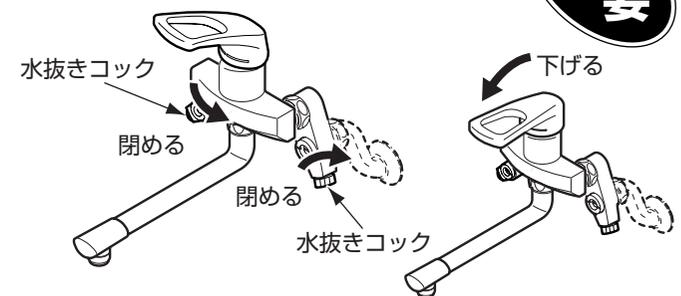
1. 配管部の元栓を閉め、水抜き栓（配管部）を開ける。
2. レバーハンドルを中央位置で上げる。



3. 水抜きコック(2カ所)を開けて、水栓本体の水を抜く。



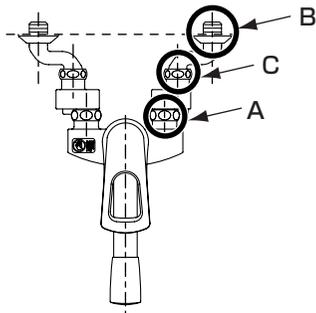
4. 水抜き完了後は、必ず水抜きコックを閉め、レバーハンドルを下げる。(水が出ない状態)



取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

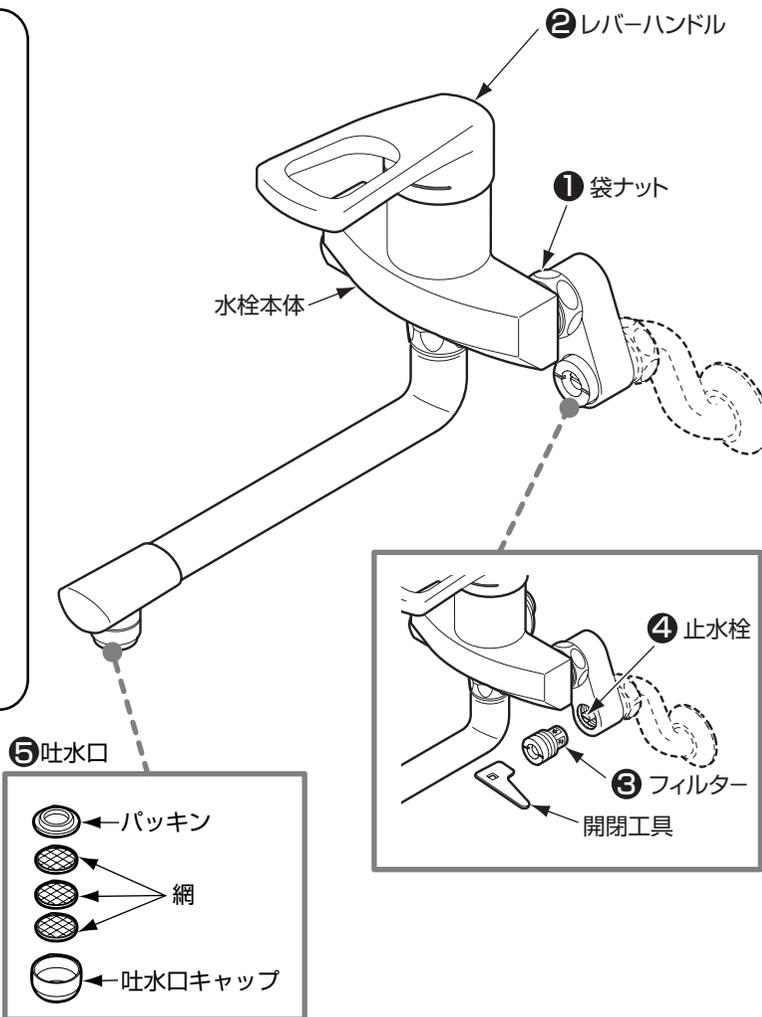


A・Cから水漏れがある場合

パッキンが入っているか確認のうえ、再度袋ナットを締め直してください。

Bから水漏れがある場合

配管に腐食・ひび割れなどがないことを確認のうえ、再度取り付け直してください。



ガタツキの確認

水栓本体のガタツキがないか確認してください。

① 袋ナットのゆるみはないですか？

➡ 6-2-5 「水栓本体の取り付け」参照

② レバーハンドルはしっかり差し込まれていますか？

➡ 6-3-6 「レバーハンドルの取り付け」参照

流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

③ フィルターのごみ詰まりはないですか？

➡ 8 2. フィルターの掃除 参照

④ 止水栓は開いていますか？

➡ 止水栓で流量を調節する。



⑤ 吐水口のごみ詰まりはないですか？

➡ 吐水口の掃除をする。



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。